

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくエジソンあべの帝塚山教室		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 10日		2025年 4月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年 2月 27日		2025年 3月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間はこどもにわかりやすく構造化された環境になっていること。障害の特性に応じ、環境上の配慮が適切に行われている。	目的によって部屋を分け、学習室には机ごとに仕切れるパーティションも置かれている。	今後必要であればバリアフリー化も検討していく。
2	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されている。	定期的に会議を開催し、目標の見直しや話し合い改善に努めている。	新しく入った職員のスキルアップを図る為、社内研修への参加を促していく。
3	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている。	曜日ごとに内容を分けている。長期休み中は平日利用の子も外出やクッキングに参加できるよう、楽しいイベントの企画に力を入れている。	利用者、保護者のニーズに沿ったプログラムを行っていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援、保護者同士の交流の機会が少ない。	親子イベントは参加者が少ない為、コロナ渦以降は開催を見送っていた。	今後ニーズがあれば前向きに検討してまいります。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	地域の会合や交流会自体が少ない。	機会があれば参加し、事業所の認知度を上げる。
3			